様式１（２）

特別保護地区（特別保護指定区域）内

　　　　　　　　　　　 木竹の伐採許可申請書

　鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第29条第７項の規定により国指定鳥獣保護区特別保護地区（特別保護指定区域）内における立木竹の伐採の許可を受けたく、次のとおり申請します。

年　　月　　日

申請者の住所、氏名及び電話番号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 法人の場合にあっては、主た

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　る事務所の所在地及び名称並

 びに代表者の氏名及び電話番

近畿地方環境事務所長　殿 号

|  |  |
| --- | --- |
| 行為の種類 |  |
| 行為の目的 |  |
| 行為の場所 |  |
| 林況 | 付近の状況 |  |
| 林種及び樹種 |  |
| 林令 |  |
| 森林面積 |  |
| 蓄積(a) |  |
| 施　　行方法 | 伐採種別 |  |
| 伐採樹種 |  |
| 伐採面積(本数) |  |
| 平均樹令 |  |
| 平均胸高直径 |  |
| 伐採材積(b) |  |
| 伐採材積歩合(b/a) | ％ |
| 関連行為の概要 |  |
| 伐採跡地の取扱 |  |
| 予定日 | 着手 | 年　　　月　　　日 |
| 完了 | 年　　　月　　　日 |
| 備考 |  |

１　添付図面

（１）行為の場所を明らかにした縮尺５万分の１以上の地形図

（２）行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺５千分の１以上の概況図及び天然色写真（近景、遠景の写真及び行為の場所との関係を明らかにした撮影位置図）

（３）行為の実施方法の表示に必要な図面

２　留意事項

（１）申請文の「国指定鳥獣保護区特別保護地区（特別保護指定区域）」の箇所には、当該国指定鳥獣保護区特別保護地区（特別保護指定区域）の名称を記入すること。なお、不用の文字は抹消すること。

（２）「行為の種類」欄には、立木の伐採、竹の伐採等、具体的に記入すること。

（３）「行為の目的」欄には、当該箇所でその行為をする理由を記載すること。

（４）「行為の場所」欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）、国有林にあっては林小班名等を記入すること。

（５）「付近の状況」欄には、地形、鳥獣の生息状況等、周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

（６）「林種及び樹種」欄には、針葉樹林、広葉樹林、混交林の別及び天然林、人工林の別並びに主な樹種を括弧書で記入すること。

（７）「伐採種別」欄には、皆伐、単木択伐、群状択伐等の別を記入すること。

（８）「関連行為の概要」の欄には、索道、林道、貯木場の設置等申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

（９）「伐採跡地の取扱」欄には、伐採後の植栽計画（年次、樹種、施行方法等）等を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

（10）「備考」の欄には次の事項を記入すること。

ア　他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続の進捗状況

イ　土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はその見込み

ウ　過去に鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の許可を受けたものにあっては、その旨並びに許可処分の日付け、番号及び付された条件

（11）森林施業以外の目的で申請する場合には、「林況」のかわりに「行為の場所及びその付近の状況」を記載する。また、「施行方法」については「伐採樹種」「伐採面積」「関連行為の概要」を記載することで足りるものとする。

（12）用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。